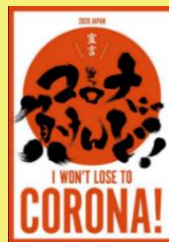


28年度補正

ものづくり
技術

有限会社道免家具店

「高周波巾はぎ接着機」導入による巾はぎ集成材の生産効率化



生徒用机・椅子

既存設備による巾はぎ集成材の製作には限界があった

当社は山の環境保全として大切な役割を担っている間伐や除伐により採取された木材を巾はぎ集成材に加工し、それを用いて特注家具の製造を行っている。巾はぎ集成材の製造において、これまでは曲げ加工に用いる既存設備を接着機として使用していたが、接着剤が乾くのに時間がかかるなど、作業効率が非常に悪かった。また、作業者の熟練度によって出来上がりに大きな差が出たり、身体的負担の大きい作業も多く、生産プロセスの改善が喫緊の課題であった。



高周波巾はぎ接着機

.....こんな会社です.....



代表取締役 道免尚史

木材とともに愛され続ける100年企業を目指します

昭和28年の創業以来、学校や図書館の家具、給食配膳台などの備品製造から始まり、現在では建築に付随した特注の木製家具・備品を製造しています。経営理念に『私たちは家具製造を通じて快適な生活文化・空間を創造します』を掲げ、お客様の「こういう製品が欲しい!」という想いを形にするお手伝いに努め、今では全国のユーザーから総合的な技術力で高い評価を頂けるまでになりました。また、地域産材を積極的に活用し、森の環境保全にも取り組んでいます。今後も木材需要を喚起し、森とともに育つ企業として、木のもつ優雅さ、優しさ、温かさを引き出した製品の提案に努めてまいります。

高周波巾はぎ接着機導入により数値化・品質向上・作業者への負担軽減を図った



高周波巾はぎ接着機による作業風景

生産力の強化及び品質の安定化を目指し、接着専用の設備である高周波巾はぎ接着機を導入した。従来の設備に比べ、接着時間が大幅に短縮され、接着の強度もあがったので、一日あたりの生産枚数が3.2倍へと生産効率が大幅に向上するとともに、納品先の希望納期への対応も可能となり、受注増も期待できる。また、各作業工程の数値化が図られることで作業者を選ぶ必要がなく、加えて作業性に優れているので、作業者への身体的な負担軽減も図られる。

全国に向け、自信を持って付加価値の高い商品を送り出せるようになった

設備導入により品質や信頼性の高まった巾はぎ集成材を使用した自治体向け生徒用机・椅子や特注家具の生産が安定的に行えるようになった。より質の高い商品の製作が可能となり、全国に向け自信を持って送り出す体制が整った。加えて、製作期間が短縮できたことで生産量を増やすことができたので、この成果を既存顧客にアピールすることで受注増に結びつけ、間伐材などの積極的な利用を推し進めていきたい。



巾はぎ集成材を使用した特注家具の一例

既存顧客との新たな商品開発と積極的な新規取引先開拓に取り組んでいく



一般客向け商品の開発

コロナの影響は今のところ出ていないが、自治体からの受注も多いので、今後の予算次第で影響が出てくることが懸念される。このような影響を受けないためには、販路を広げる必要があると考えており、現在の受注の多くを占める法人向けに加えて、一般客向けの商品開発も大手小売り企業と共同で進めている。現在の取引先との関係を維持強化しつつ、新規取引先の開拓を進め、更なる事業の発展につなげていく方針である。

info

有限会社道免家具店
代表取締役 道免 尚史

事業実施場所
〒891-0115
鹿児島市東開町13-22
TEL 099-269-5201
FAX 099-267-9775
<http://www.doumenkaguten.com>

設立 昭和38年6月
資本金額 600万円
従業員数 15名
業 種 家具・装備品製造業



本社工場